

一歩進んだアルコール問題への対応方法 ～SBIRT

吉本 尚 先生

筑波大学医学医療系 地域医療教育学 講師

筑波大学附属病院 総合診療科

平成28年6月28日（火）

18：30～20：30

筑波大学総合研究棟D 公開講義室(1F)

アルコール問題はどの領域でも関わる健康課題であるが、介入が必要と判断される飲酒者は全国に1,000万人いるとされ、問題の早期発見や初期対応はすべての医療者に必要とされる。

特に近年、アルコール依存症になる以前の、「危険な飲酒」「有害な飲酒」の段階から介入を行うことが効果的と言われており、全世界で対策が進められている。

こういった早期の介入は、アルコールに関連する身体的・心理的・社会的問題を減らす意味でも、医療者・医療機関の疲弊の軽減、医療費の増大を軽減させるという視点からも、非常に重要な取り組みである。

今回はアルコール問題のスクリーニング、介入、適切な紹介・連携を効果的に行う枠組みであるSBIRT（Screening, Brief Intervention, and Referral to Treatment、略称：エスパート）を説明し、具体的にどのように行うのかについて述べたい。

今回の勉強会では、筑波大学医学医療系地域医療教育学の吉本尚先生に「一歩進んだアルコール問題への対応方法～SBIRT」の演題で、お話していただく予定です。事前申し込みの必要はございません。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部の後援を受けています。この講演会に参加されますと、**日本プライマリ・ケア連合学会 専門医・認定医2単位と認定薬剤師1単位**が取得できます。

またフロンティア医科学専攻の医科学セミナー4（高齢者医学）の一部となっています。

連絡先：筑波大学医学医療系
福祉医療学
柳 久子

TEL&FAX： 029-853-3496